

ふるさと探検ウォーキング

宮内原水路概要

宮内原水路は、国分平野に広がる水田に農業用水を供給するため1716年に6年の歳月を費やし完成した。

天降川上流、水天淵を取水口とし、隼人町中央部をゆるやかな曲線を描き流下し、鹿児島湾にそそぐ延長13kmの用水路である。

このうち、鹿児島神宮を起点とし、蛭児神社を終点とする区間を地域用水環境整備事業により、平成7年度から平成15年度まで整備を行っている。

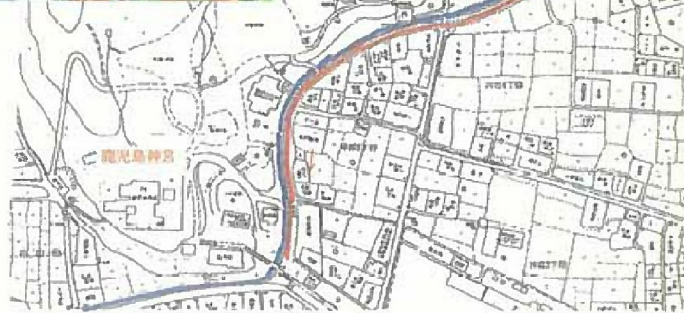
この区間は、名所・名跡が多く、散策や人々の憩いの場となっている。また水路にはホタルが生息しており、蛭児神社周辺では、毎年ホタルを見ることができる。このため、地域用水環境整備事業では、景観・生物に配慮した整備を行っている。

ホタルと水ロマンコース（隼人町宮内原）

水性植物園



水性植物園



ホタル



西郷どんの館

